

日赤新勞

2022年
4月1日
発行
第255号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門2-7-9 鍋島ビル2F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
E メール shinro@shinro.org
ホームページ <http://www.shinro.org/>
発行責任者 梶谷 充

第六十一回 定期全国大会開催

大会宣言

佐藤中央副執行委員長の開会のことばの後、資格審査をおこない、代議員56名と委任状41枚と成立確認を経て、大会役員及び議長団が選出された。議長には金子正志氏（山形血七）、副議長に小田昌弘氏（岡山日赤）、書記に松本良樹氏（今津日赤）。

審議に先立ち伊藤中央執行委員長が挨拶に立ち、次のように述べた。

「先ずは、第六一回全国定期大会挨拶に先立ちまして、昨日結成六〇周年記念式典が挙行されたことをご報告いたします。準備委員の方がたにお礼申し上げま

二月十一日から二十二日の両日 静岡県浜松市において、第六十一回定期全国大会が開催された。「アクトシティ浜松」を会場に、ハイブリット形式で全国加盟団組より参加者七名、Web参加の代議員及びオブザーバー五七名の参加のもと、二〇二一年度の活動報告と、二〇二二年度運動方針案や要求書のほか、競争委員会の内規等について審議、報告が行われ、新執行部体制のもと、本年度も要求獲得に向けて力強く前進していくことを確認した。

月一七日の内閣府月例報告によれば、「景気は、持ち直しの動きが続いているもの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。先行きについては、

課題であったRプランについては二〇二一年十一月十四日に中央労働委員会のあつせんが行われ、あつせん委員からのあつせん案を受諾し、Rプランの開始時期の一年延期を勝ち取ること

要求獲得に向けて力強く前進



さて 第六回定期全国大会に感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していくため、各会場にて開催にご参加いただきありがとうございました。外経済の改善もあって、暑い中で、各種政策の効果や海 気が持直していくことが

た制度として不十分な点はあるかと思います。新たな勤務評価制度については、今後の本社スケジュールなど開始に向けた実施状況等

等なはた点
1回中央委
5月15日(日)
横浜市西区北幸
OHAMA ホテル

二〇一二年度運動
案、予算案等について
が行われ、要求書案に
ては基本賃金の引上げ
昇込み三・〇%（一、

万金置の規約は、総合規約には審議載せず、諸規則として運用をおいを定めることで決まった。また、男性の育児休暇の取得に関する質疑があり、本社に確

ができましたことをご報告しておきます。

—第1回中央委員会—

2022年5月15日(日)～16日(月)
神奈川県横浜市西区北幸2-9-1



基本賃金の弓上ひを定
込み三・〇%（一千万六
円）と決定。
その他の要求書案につ
て賛成多数で決定された
三、スローガンおよび闘
方針案について

五、単組活動報告

監査委員からは「適正且
正確に処理されている」、
の報告がなされ賛成多数
で承認された。単組活動報
においては、各単組代表
から、資料に基づいて補
説明を加えながら施設間

より二〇二二年度会計収
決算報告が行われた。今
度もコロナ禍で参集して
監査が難しく、初めてW
bを使用しての会計監査
なった。会費収入の表記
ついて質疑の後、今西会

A black and white photograph showing the entrance to a modern building. The entrance consists of a large glass door set within a dark frame. To the left of the door is a tall, cylindrical vertical column. Above the entrance, a series of horizontal steel beams support a glass roof. The building's exterior wall is made of light-colored tiles.

涉やレク活動等の報告
われ、各単組とも新型
ナウイルス感染症の波
り十分な活動ができて
いようであった。

が行
によ
いな
の項目で、闘争委員会の設
2日目には前日のその他
予定が知らされた。
また、HPのパスワード
の更新や来年度の会議等の

二〇二二年度

○第一回中央委員会(神奈川県横浜市)
五月十五日～十六日

○単組新任役員研修会(大分県大分市)
六月二十五日～二十六日

○第二回中央委員会(茨城県水戸市)
九月十一日～十二日

○第三回中央委員会(大阪府大阪市)
十二月十日～十一日

○第六十二回定期全国大会
二〇一三年二月十九日～二十一日

日本赤十字 新労働組合連合会 結成六十周年式典

去る二月二十日(日)、静岡県浜松市の「オーディトリアムホテル浜松」において、日本赤十字新労働組合連合会結成六十周年記念式典が挙行された。記念式典は、新型コロナウイルス感染症第六波の影響によりハイブリッド形式での開催となった。

松岡顧問と歴代の中央執行委員長五名にご臨席いただき、表彰者は二十五名中九名、参考者四名とWeb参加者四十三名の列席のもと、祝賀会の開催は見送りとしたが、感染対策に配慮した上で無事終了した。

記念式典では、まず想い、来賓の方々並びに元中央執行委員長の方々のご臨席を出の一コマとして、日赤新労働組合の六十年のあゆみをスライドで紹介された。昭和三十六年九月三日の結成式典の写真から始まり、決起集会や本社交渉の様子をはじめ、歴代本部役員らの懐かしい顔が映し出された。

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご多忙中にもかかわらず、ご

厳粛な雰囲気の中、伊藤中央執行委員長が演壇に立ち、挨拶を述べた。

「本日は、公私ともにご多忙中にもかかわらず、ご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

多忙中にもかかわらず、ご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

司会進行の中央執行委員

・國本三知代氏により会式

書記長が開会の言葉を述べた。

「本日は、公私ともにご

ご理解、ご協力により、こ

とに挙行できることは、

無上のよろこびと光栄であ

ります。

日本赤十字の歴史を顧みる

